

TOP MUSEUM

東京都写真美術館ニュース eyes 101

| 日本初期写真史 関東編 幕末明治を撮る

| 2020年度 東京都写真美術館 全展覧会スケジュール発表!



日本初期写真史 関東編 幕末明治を撮る

History of Japanese Early Photography: Kantō Region
Images of Japan, 1853-1912

3F 2020.3.3|火| - 5.24|日|



東京都写真美術館では、日本における写真文化の始まりをご紹介しますために、毎春、初期写真に焦点を当てた展示を行っています。2020年は、幕末明治の関東地方の写真文化に着目した「日本初期写真史 関東編」を開催します。

本展は、高橋則英氏(日本大学芸術学部写真学科教授)の監修のもと、関東地方の豊かな作品群や作家の誕生を、歴史や地域の特徴を際立たせながらひもとく展覧会です。まず一章では、欧州で発祥した写真の歴史を概観し日本で普及するまでの様子や、当時の写真技術を紹介します。そして、二章では制作者に焦点をあて、関東地方を訪れた写真家や、この地を基盤として活動した写真家や写真技術者の活躍を史料で展覧します。三章では、幕末期の肖像写真から建設中の東京駅まで、バラエティに富んだ幕末明治の写真作品を展覧します。

日本写真の起源に深く関わる写真や資料が一堂に会する貴重な機会を、どうぞお楽しみください。

下岡蓮杖(相撲) 慶応4-明治4年頃(c.1868-71) 鶏卵紙 東京都写真美術館

第一章 初期写真抄史

写真発明の起点は、18世紀末に遡ります。フランスで発明されたダゲレオタイプは肖像や風景の記録に用いられ、欧米の人々を魅了しました。イングランドで発明されたカロタイプは、一度の撮影で何枚も同じ写真を得ることができる画期的な技術の発明でした。1870年代末からはゼラチン乾板の普及によって瞬間撮影も可能になります。

日本では、天保14(1843)年に長崎で写真器材一式の輸入が試みられましたが失敗に終わり、5年後の再挑戦でようやく成功。薩摩藩によって写真技術の研究が進められ、川本幸民の『遠西奇器述』に「直写影鏡ダゲウロービー」として紹介されます。欧米各国と条約を締結した日本は次々と使節団を派遣し、彼らは現地で撮影した肖像写真を江戸へ持ち帰り、写真の普及に貢献しました。

開港した横浜には日本初の写真館が登場し、ここで写真術を取得した鶴岡玉川が日本人初の写真家として江戸で開業します。文久2(1862)年には横浜で下岡蓮杖が、長崎で上野彦馬がそれぞれ開業。コロディオン湿板方式を用い、アンブロタイプや鶏卵紙のプリントを作りました。彼らを師とする第二世代が慶応～明治初年に開業し、更に弟子を輩出するかたちで写真文化が日本に定着していきます。

[主催] 東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会 [協賛] ライオン／大日本印刷／損保ジャパン日本興亜／日本テレビ放送網
[観覧料] 一般 700円 (ほか各種割引あり) 3月20日-4月5日は「Welcome Youth」開催期間のため18歳以下(2001年4月2日以降生まれ)の方は無料

主な初期写真の技法・用語

ダゲレオタイプ Daguerreotype

ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール(仏)が1839年1月に公表した写真術。この年を写真発明の年としています。銀メッキをした銅板にヨウ素の蒸気をあてて光に感じるようにして撮影します。現像は水銀の蒸気で行います。大変シャープな画像ですが、一回の撮影で1点しか作ることはできません。

カロタイプ Calotype

ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット(英)が1839年に発表した技術を改良したもので、これにより同じ写真が何枚も作れるようになりました。銀の化合物を染みこませて感光性を与えた紙をカメラに装着して、撮影をしたのち現像してネガ原板をつくります。それを印画紙に密着させて太陽光で焼きつけてポジ像のプリントをつくります。ギリシャ語のカロス(「美しい」の意)から命名されました。

アンブロタイプ Ambrotype

フレデリック・スコット・アーチャー(英)が1851年に公表した、ガラス板に硝酸銀をのせ、それが乾かない内に撮影・現像をする写真術です。通常はネガ原板を作るための方式ですが、そのままポジとして見るのがアンブロタイプです。ガラス板の下に黒い布などを敷くとポジ像として見えます。

鶏卵紙 Albumen paper

ルイ・デジレ・ブランカール・エヴラル(仏)が、1850年に発明した、19世紀を通して最も一般的に使われた印画紙。卵の白身に食塩を混ぜ紙に塗り、乾いた後に硝酸銀溶液を塗り、光に感じるようにします。ネガを密着させ、太陽の光で焼き付けると茶褐色の画像が現れます。外国人に人気があった「横浜写真」には、美しい手彩色がなされています。



1)《中央停車場建築》宮内幸太郎 明治44(1911)年 ゼラチン・シルバー・プリント 横須賀市自然・人文博物館蔵 2)《野々村忠実像》万延元(1860)年 ダゲレオタイプ 3)《按摩》フェリーチェ・ベアト 元治・慶応元年頃 鶏卵紙に手彩色 4)5)《(ロザモンド像)》ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット 1844年 4は紙製ネガ原板/5は単塩紙 6)アメリカン・ダゲレオタイプカメラ(世界初の写真技術に使われたカメラ) 1850年代初頭 表記のないものは東京都写真美術館蔵

第二章 関東の写真家

東京と関東一円を起点として日本の写真文化は普及していきます。

文久3(1863)年にはフェリーチェ・ベアトが訪日し、外国人居留地があった神奈川県横浜で、日本の風俗を紹介する手彩色の写真を加えたアルバムを制作しました。ベアトの元で研鑽したのが、日下部金兵衛です。彼らの作例をはじめ、手彩色によるカラー写真はこの時代の重要な技術でした。

また、明治になると、化学者レオン・ポエルによる横須賀製鉄所の作例が生まれたり、東京では浅草や銀座などの繁華街に写真館がオープンしたりと、さまざまに写真が制作されていきました。埼玉の熊谷、茨城の水戸、栃木の栃木市、千葉の千葉市に、それぞれ明治初年に写真館が誕生し、群馬でも明治10(1877)年に富岡で写真館が開業しました。

名を残す写真家だけでなく、さまざまな人々が写真文化と交わり、変わりゆく時代の姿を大切に残しました。

関東の写真家たち

栃木

片岡如松
横山松三郎の弟子とされる。横山が肖像を撮っている。荒廃する江戸城を撮影し、江戸文化の記録を今に遺した

茨城

宇佐美竹城
下岡蓮杖の孫弟子とされる

群馬

小川一真
富岡製糸場の前で開業。写真印刷で成功し、東京駅開業にむけて鉄道院(のちのJR)が制作したアルバムを撮影

埼玉

吉原秀雄
小川一真の師匠。磐梯山の噴火(明治二十一年)を撮影

東京

鶴岡玉川
日本人初の写真家として知られる

神奈川

フェリーチェ・ベアト
日本の名勝と風俗を欧米に紹介



千葉

豊田尚一
千葉市本町でスタジオを開業し主に肖像を撮影

表紙の図版/制作者不詳《(東京向島)》明治20年代 鶏卵紙に手彩色 個人蔵 ※表紙は部分



THE IMAGINATION OF TIME

令和2年2月7日(金)～
2月23日(日・祝)《15日間・月曜休館》

会場／東京都写真美術館、日仏会館、サ・ガーデンルーム、
恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所 ほか

時間／10:00～20:00
※最終日は18:00まで

入場／無料

※定員制のプログラムは有料



シュウゾウ・アツチ・ガリバー「De-time 2005」より
from Shuzo AZUCHI Gulliver "De-time 2005"

APA AWARD 2020 第48回 公益社団法人 日本広告写真家協会公募展

B1F 2020.2.29|土| - 3.15|日|

「広告作品部門」と「写真作品部門」の2部門の受賞作品を展示します。

[主催] 公益社団法人日本広告写真家協会(APA) [共催] 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 [協賛] オリオン株式会社/キャノンマーケティングジャパン株式会社/株式会社玄光社/ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社/株式会社ニコンイメージングジャパン/株式会社ピクトリコ/富士ファイルイメージングシステムズ株式会社/株式会社フレームマン [協力] 法人賛助会員各社 [観覧料] 一般500円ほか

併設開催：第11回「全国学校図工・美術写真公募展」

◎お問い合わせ
公益社団法人日本広告写真家協会 03-5449-0580



《愛宕山から見た江戸のパノラマ(東方)》フェリーチェ・ベアト 文久3(1863)年 鶏卵紙 東京都写真美術館蔵

第三章 初期写真に見る関東

江戸が東京になっても、民衆の暮らしは大きく変わることはなく、日本家屋に住み、和服で生活をしていました。欧米の人々は、日本のめずらしい風習・風俗やエキゾチックな風景に強い興味を抱いていました。それに応えるべく訪日外国人や日本人写真家たちが、関東各地で数多くの写真を撮影しました。横浜のミヒャエル・モーザーは、居留地内のニュース雑誌『ザ・ファー・イースト』と契約し、日本中取材しました。

この章では、同じ被写体を複数の写真家が撮影した作品を展示します。それらを見比べると、時代の流れだけではなく、それぞれの写真家によって撮影の目的、被写体の捉え方などが違うことがわかります。1枚の写真が雄弁に語りだす物語を読み解いていくことは、初期写真を鑑賞する醍醐味といえるでしょう。

関東各地で誕生した写真家たちは、地域や公的機関の要請に基づいて写真を撮るようになりました。彼らの仕事は、すべて関東地方で制作された写真であり、関東地方の人の手に伝えられました。そして度重なる戦乱や災害を生き抜き、100年の時を超えて私たちの眼前に存在しているのです。



2



3



4



5



1

1)《(足場を組んだニコライ教会堂)》田中武あるいは江崎礼二 明治22(1889)年(後年のプリント)ゼラチン・シルバー・プリント 個人蔵 2)《小笠原島父島ノ内二見港明治丸並英米軍艦カラー号碇泊ノ景》松崎晋二 明治8(1875)年 鶏卵紙 3)《(日本橋)》ミヒャエル・モーザー 鶏卵紙 明治5(1872)年 日本大学芸術学部蔵 4)《大築尚志》(日本最古の写真館で撮影された肖像写真) オーリン・フリーマン 万延元(1860)年 アンプロタイプ 沼津市明治史料館蔵 5)《鎌倉大仏》日下部金兵衛 明治20年代(c.1887-96) 鶏卵紙に手彩色 表記のないものは東京都写真美術館蔵

関連イベント

日本初期写真史連続講座

[日時]

3.6(金)「横浜居留地と初期写真」

斎藤多喜夫(横浜外国人居留地研究会会長、
横浜開港資料館元調査研究員)

3.20(金・祝)「幕末明治の東京 ～変わりゆく江戸の町並み～」
井桜直美(古写真研究家)

4.3(金)「初期写真と関東地方」

三井圭司(本展担当学芸員)

4.17(金)「横須賀製鉄所と初期写真」

菊地勝広(横須賀市自然・人文博物館学芸員)

5.15(金)「幕末明治の写真技術」

高橋則英(日本大学芸術学部教授、日本写真芸術学会会長)

各日18:00-19:30

[会場] 2階ロビー [各回定員] 50名 入場無料、先着順

アンプロタイプ制作技法デモンストレーション

[日時] 3.14(土)/5.2(土)各日とも14:00-16:30

[講師] 猪俣良文(アトリエ シャテーニュ)

[会場] 東京都写真美術館 1階スタジオ

[定員] 50名 入場無料、先着順

アンプロタイプの制作プロセスを見学するデモンストレーション・イベントです。開催内容は両日とも同じです。

鶏卵紙着彩ワークショップ

[日時] 5.10(日)14:00-17:30 [講師] 三木麻里(写真修復師)

[会場] 東京都写真美術館 1階スタジオ

[定員] 20名 事前予約制、先着順 [参加費] 2,000円(税込)

出品作品のイメージを用い鶏卵紙のプリントに着彩を行うワークショップです。

詳細はホームページをご確認ください。

| 展覧会監修者によるギャラリートーク

3.24(火)/4.7(火)/5.5(火・祝)各日とも16:00-17:00

本展監修者・高橋則英氏(日本大学芸術学部写真学科教授)による展示解説です。展覧会チケット(当日印)をご持参ください。

| 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

展覧会期間中の毎週金曜日16:00-17:00

担当学芸員が展示作品をわかりやすく解説します。展覧会チケット(当日印)をご持参ください。3月20日(金・祝)は手話通訳付きで行います。

| Gallery Tours in English

March 19 Thursday 18:00-19:00

April 21 Tuesday 11:00-12:00

May 21 Thursday 16:00-17:00

Free with purchase of regular exhibition admission.

*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

写真とファッション

90年代以降の関係性を探る

Photography and Fashion Since the 1990s

2F 2020.3.3 | 火 | - 5.10 | 日 |

本展覧会では、「写真とファッション」をテーマとし、1990年代以降の写真とファッションの関係性を探ります。

これまでのファッションが発展する過程において、写真は衣服が持つ魅力を伝えるという重要な役割を担ってきました。写真によって作り出されるイメージは、ときには衣服そのものよりも人々をひきつけ、時代を象徴するようなイメージとなっています。

1990年代に入り、ファッションの魅力を伝えるという枠組みを超え、人々に訴えかけるイメージを作り出す写真家や、インディペンデントなスタンスで情報を発信するファッション誌が登場しました。彼らの活動は、人々の考え方やライフスタイルにも影響を与え、その後の世代にも繰り返し参照されています。

写真とファッションの関係性は、インターネットが普及した2000年代以降、さらなる変化を遂げます。かつては新聞や雑誌の編集者、記者など、限られた人々を介して伝えられていた最新のファッションショーや展示会の様子も、近年ではツイッターやインスタグラムなどSNSを通して、タイムラグなく一般の人々の手元に届けられるようになりました。また、情報を受け取るだけでなく、タグ付けをしたセルフイー(自撮り)に代表されるように、受け手自身も様々な形で情報発信を行っています。

本展覧会は監修に、長年にわたり文化誌『花椿』の編集者としてファッションやアートの世界を見つめてきた林央子氏を迎え、国内外のアーティストによる作品で「写真とファッション」の関係性を探る試みです。時代のターニングポイントとなった稀少なファッション誌の展示や、関連イベントなど、様々な角度から写真とファッションをお楽しみください。



3



4



5



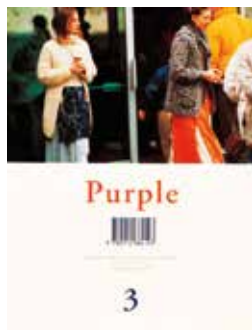
6



7



8



1



2

1)『Purple』vol.3(1999年)表紙 2)『here and there』vol.7(2007年)表紙 3)高橋恭司『Tokyo Girl』(The Mad Broom of Life)より1992年 作家蔵 ©Kyoji Takahashi, courtesy of nap gallery 4)エレン・フライス(Landscapes)より2019年 作家蔵 ©Elein Fleiss 5)PUGMENT <Spring 2018>より 2017年(撮影:三野新) ©PUGMENT

関連イベント

出品作家とゲストによる鼎談
 [日時] 2020.4.11(土) 15:00-16:30
 高橋恭司×安野谷昌徳(美術家)×大城壮平(『VOSTOK』編集長)
 [会場] 東京都写真美術館 1階スタジオ
 [定員] 50名
 ※当日10時より1階受付にて整理券を配布します。番号順入場、自由席。

PUGMENT(出品作家)による2020年秋冬コレクションのプレゼンテーション

[日時] 2020.4.19(日)
 時間は決定次第お知らせします。
 [会場] 東京都写真美術館 1階スタジオ
 [定員] 190名
 ※当日10時より1階受付にて整理券を配布します。番号順入場、自由席。

展覧会担当芸員によるギャラリートーク

会期中の第2・第4金曜日14:00より。本展チケット(当日消印)をご持参ください。3月27日(金)は手話通訳付きで行います。

※事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

本展関連サテライト展示

PUGMENTが運営するギャラリーPeople、およびセレクトショップのビームスが運営するショップBEAMS JAPANにて、本展に関連した作品や資料の展示を行います。

会場 People(東京都渋谷区恵比寿 1-18-4 NADiff A/P/A/R/T 2F) 03-3446-4977
 BEAMS JAPAN(東京都新宿区新宿3-32-6 BEAMS JAPAN 4F) 03-5368-7300
 詳細は各会場のホームページでご確認ください。

[主催] 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会 [協賛] ライオン / 大日本印刷 / 損保ジャパン日本興亜 / 日本テレビ放送網 / 東京都写真美術館支援会員 [観覧料] 一般 800円 ほか各種割引あり 3月20日-4月5日は「Welcome Youth」として18歳以下(2001年4月2日以降生まれ)無料

白川義員写真展 **B1F**

第一期 永遠の日本
Shirakawa Yoshikazu Exhibition; Eternal Japan
2020.3.20|金・祝| - 4.19|日|

第二期 天地創造
Shirakawa Yoshikazu Exhibition; The Earth
2020.4.21|火| - 5.17|日|

前人未到の領域に挑み続けるシリーズ ついに最終章

世界的写真家で、山岳写真家としても輝かしい実績を残す白川義員は、「地球再発見による人間性回復へ」を創作活動の基本理念として、地球がもつ美や神秘、荘厳さを追求し続け、1969年出版の『アルプス』以来、『ヒマラヤ』『アメリカ大陸』『聖書の世界』『中国大陸』『神々の原風景』『仏教伝来』『南極大陸』『世界百名山』『世界百名瀑』まで、10のシリーズを発表してきました。本展では作家の集大成となる2つのシリーズを紹介します。

第一期・シリーズ第11作目となる「永遠の日本」は、日本人の誇りと魂を復興する一助になりたいと

いう作家自身の願いが込められた、崇高で美しい日本の自然を紹介します。

第二期・シリーズ第12作目となる最新作「天地創造」は、50年以上にわたる写真家生活で撮り続けてきた国内外選りすぐりのダイナミックな風景美を、最新のデジタル技術でかつてないスケールと臨場感で再現します。

地球環境が重要視されている現代、自然が発する壮絶な感動と深遠な畏れを感じさせる作家渾身の作品が一堂に会します。



《ヒマラヤ連山、ネパール・中国》

【主催】東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 【協賛】凸版印刷株式会社 【協力】株式会社小学館
【観覧料】一般 700円 ほか各種割引あり 3月20日-4月5日は「Welcome Youth」として18歳以下(2001年4月2日以降生まれ)無料

第一期 永遠の日本



《浅間山》



《剣岳黄変》



《熊野古道大雲取越》

第二期 天地創造



《イグアズ滝、悪魔の喉笛、ブラジル・アルゼンチン》



《アンテロープ・キャニオン、アメリカ》



《デス・ヴァレ国立公園、アメリカ》



白川 義員(しらかわ・よしかず)

1935年愛媛県生まれ。写真集『ヒマラヤ』(小学館、71年)により、72年、第13回毎日芸術賞、第22回芸術選奨文部大臣賞を受賞。その後、地球がもつ美や神秘、荘厳さを追い求めた「地球再発見による人間性の回復へ」シリーズを展開。79年から80年にかけての『聖書の世界』三部作(小学館)により、81年全米写真家協会最高写真家賞を日本人として初めて受賞。88年、第36回菊池寛賞、95年、第27回日本芸術大賞を受賞。97年以降は世界の山岳関係者が選定した「世界百名山」プロジェクトに着手、世界の名峰127座をカメラに収める。99年、紫綬褒章授章。
Photo: 藤澤卓也

| 関連イベント

出品作家によるギャラリートーク

撮影時の状況から裏話、独自の自然観など、作家自らが熱く語る貴重な機会です。

【日時】2020.3.28(土)、4.11(土)、4.25(土)、5.9(土)各回14:00~本展チケット(当日有効)をご持参ください。

| 担当学芸員によるギャラリートーク

毎月第1・3金曜日14:00より。本展チケット(当日有効)をご持参ください。

講演会

「白川義員：前人未到の旅路を行く～創作の軌跡～」

シリーズ第1作「ヒマラヤ」から最終章「天地創造」までの創作活動の軌跡を語ります。

【日時】2020.5.2(土) 14:00~ 【会場】1階ホール

【定員】190名

聴講無料、当日午前10時より1階総合受付にて整理券を配布します。

*事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

2020年度 東京都写真美術館 全展覧会 スケジュール発表!

東京都写真美術館で、2020年4月～2021年3月までに開催する全展覧会ラインナップをご紹介します。国内外で活躍する作家の個展から、最新作が待ちどおしい映像作品や新進作家による展覧会まで、1年を通じてさまざまな作品との出会いをお楽しみください。

展覧会の詳細や関連イベントは、決定次第、公式ホームページにアップします。公式ツイッターやインスタグラムではタイムリーな情報を発信します。

 @topmuseum
  topmuseum
 <https://www.topmuseum.jp>

2020.3》

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2021.1》

2

3

4

5

3F
展示室

日本初期写真史 関東編

幕末明治を撮る

3.3(火)～5.24(日)

幕末明治期に関東地方で活躍した写真家を多数紹介



1

森山大道の東京

6.2(火)～9.22(火・祝)

DAIDOの現在進行形を最近作で



2

TOPコレクション

琉球弧の写真と映像

9.29(火)～11.23(月・祝)

沖縄を中心に南西諸島の代表的作家を紹介する初企画



3

光のメディア

12.1(火)～2021.1.24(日)



4

第13回恵比寿映像祭

2021.2.5(金)～2.21(日)

写真発祥地の原風景 北海道編

2021.3.2(火)～5.9(日)

幕末明治期の北海道へタイムスリップ! 近代化する街や人々の様子が目前に



5

光をかたちにするという写真の特性を初期写真～現代作品で

2F
展示室

写真とファッション

90年代以降の関係性を探る

3.3(火)～5.10(日)

1990年代以降の写真とファッションの関係性をさぐる初の試み



6

インタビューは P11 へ

日本・オーストラリア 現代写真

5.19(火)～7.19(日)

二国間の共通点や差異が際立つ話題の現代作家たち



7

日本の新進作家 VOL.17

7.28(火)～9.22(火・祝)

表現の可能性に挑戦する新進作家を支援するアニュアル展



8

石元泰博

9.29(火)～11.23(月・祝)

モダニズムを極めた美の世界。生誕100年を記念した大回顧展



9

瀬戸正人

12.1(火)～2021.1.24(日)

バンコク、東京、福島をとらえた代表作を一室に



10

第13回恵比寿映像祭

2021.2.5(金)～2.21(日)

澤田知子

2021.3.2(火)～5.9(日)

セルフポートレイトの手法で国内外で活躍。新作を初公開



11

B1F
展示室

白川義員写真展 永遠の日本／天地創造

3.20(金・祝)～5.17(日)



12

JPS

日本写真家協会展

5.23(土)～6.7(日)

世界報道写真展

2020

6.13(土)～8.9(日)

当館収蔵作家の個展を2期構成で。シリーズ最新作を初展示

エキソニモ

8.18(火)～10.11(日)



13

写真新世紀2020

10.17(土)～11.15(日)

国際的に活動する人気映像ユニットの日本初大規模個展

星野道夫

11.21(土)～2021.1.24(日)



14

第13回恵比寿映像祭

2021.2.5(金)～2.21(日)

APAアワード2021

2021.2.27(土)～3.14(日)

極北の自然に魅せられた写真家の軌跡をたどる

JPS 日本写真家協会

70周年記念展

2021.3.20(土・祝)～5.16(日)

1) 下岡蓮枝《(相撲)》1868-71年頃 2) 森山大道《Pretty Woman》より2017年 作家蔵 3) 平敷兼七《火葬場 南大東島》1970年 ゼラチン・シルバー・プリント 4) ホワイト、マイナー《窓枠の白昼夢、ロチェスター、ニューヨーク州》1958年 5) ライムント・フォン・シュティルフリート《函館》明治5年 6) アンダース・エドストローム (Martin Margiela spring/summer 94)より1993年 作家蔵 ©Anders Edström 7) ポリクセニ・パペトローウ《訪問者》(世界のはぎまで)より2012年 ©Polixeni Papapetrou 8) 岩根愛《KIPUKA》より2018年 9) 石元泰博 セルフポートレート1975年 ©高知県、石元泰博フォトセンター 10) 瀬戸正人《トンブリ地区(チャオプラヤー川の西側)のワンウェンヤイ駅のバス停》(バンコク、ハノ

イ)より1982-1987年 11) 澤田知子《TIARA》2007年 12) 白川義員《雌阿寒岳夕照》(永遠の日本)より 13) エキソニモ exonemo《Kiss, or Dual Monitors》2017年(「ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城) Photo:Niko 14) 星野道夫《草むらに潜むグリスリー》©Naoko Hoshino 表記のないものは東京都写真美術館蔵。1、6、12を除く図版は参考図版です。5月以降に始まる展覧会名はすべて仮称です。展覧会スケジュールは2020年2月現在の予定です。事業はやむを得ない事情で変更することがございます。最新情報はご確認ください。

今年5月に開催予定の「日本・オーストラリア 現代写真展」展(仮称)は、メルボルン大学協力のもと、同大学教授のナタリー・キング氏とともに展示の準備が進行中です。リサーチのために来日したキング氏に、彼女が抱いてきた問題意識や本展にかける思いについてうかがいました。

「日本・オーストラリア 現代写真展」展(仮称)は、日本とオーストラリア、それぞれの国で活躍する現代写真作家のグループ展です。この展覧会でオーストラリア側のキュレーションを担当することになり、この度、リサーチのために日本を訪れる機会に恵まれ、共同企画の東京都写真美術館学芸員・山田裕理さんに協力していただいて、とても充実した時間をすごすことができました。

私が東京都写真美術館で展覧会を企画にかかわるのは、現代を代表する作家たちを紹介したグループ展「オーストラリア現代写真展 世界は歪んでいる。」展(2004年)と、先住民の重要作家に焦点をあてた「オーストラリア現代作家 デスティニー・デーコン」展(2006年)につづき3回目となります。今回の展示では、作家たちの表現を通じ、日本とオーストラリアという歴史的背景や文化の異なる二国間の差異や共有できるものをひとつずつ丁寧にすくいあげたいと考えているんです。

オーストラリアの特殊性

私たちが生きている時代は激動の只中にあるだけでなく、地球がいためつけられて、さまざまな天変地異が各地でおこっていますが、オーストラリアも例外ではありません。例えば、今まさにおこっている環境問題が大規模な森林火災です。ことにシドニー近辺では、手のつけられないような野火が燃え盛っていて、煙で空はまったく見えず、街中にいても火事の匂いが鼻をつくほどなんです。

また、エアーズロックの名で知られる巨大な一枚岩のあるエリア、ウ



ポリクセニ・ババペトロウ《訪問者》(世界のはざままで)より 2012年 ©Polixeni Papapetrou

ルルが立ち入り禁止となったことが、日本でも大きく報道されたとうかがいました。あの地は先住民であるアボリジナルの聖地であり、土足で立ち入られることは彼らにとって大変な苦痛であったに違いありません。ウルルに関しては彼らの長年の願いがやっと聞き入れられたわけですが、先住民をとりまく環境は今も大変厳しく、問題は複雑です。

このようにオーストラリアは、万国共通の状況を共有しながらも、特有の課題を数多く抱えているのです。

互いを知ることでひらける未来

オーストラリアではアボリジニ系とそうではない者がともに働くことは非常にめずらしいのですが、私にはメンター(信頼できる助言者)のような存在のアボリジナル系男性キュレーターがいます。長年、彼と協力して仕事してきましたが、そのおかげで多くのことを学ぶことができましたし、オーストラリア特有の問題に取り組むことが美術家としての自分の重要な基本姿勢でありつづけてきました。そして、これは私なりの和解の方法でもあります。なぜなら、協働しながら互いの差異や共有できるものを知ることが、新しい未来をつくっていくひとつの手段であり、希望であるからです。

今まさに、出品作家を検討しているところですが、この展覧会では私たちの過去をふりかえりながら、



和やかにインタビューに応じる ナタリー・キング氏

自分たちの宿命について問いただし、それを作品にしようとする作家の作品を紹介したいと考えています。そして、展覧会場を作家や来場者のみなさんとともに考えることのできる場にできれば、これほど嬉しいことはありません。

(2019年12月、東京都写真美術館にて。インタビューと文・富田秋子)

日本・オーストラリア 現代写真 (仮称)

Reversible Destiny
Australian and Japanese
contemporary photography

3F

2020.5.19|火|-7.19|日|

[主催] 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 [特別協力] メルボルン大学 [協力] 東京藝術大学 [助成] 在日オーストラリア大使館/豪日交流基金

1F HALL / 上映

最新の
上映スケジュールは
こちら▶



1F 衝動 世界で唯一のダンスオーラ



伝説のバレエダンサー、ミハイル・バリシニコフがパフォーマンスに感動し、彼女のもとに腕いた一

スペイン芸術界最高の栄誉「スペイン国家舞踊賞」を26歳の若さで受賞。2018年にイギリスの舞台芸術の最高賞「ローレンス・オリヴィエ賞」ノミネート。伝統的なフラメンコをベースにしながら、革新的なスタイルでフラメンコの世界を押し広げ、世界的な評価を確立したロシオは、他の舞台芸術や現代アートの世界からも熱い視線を送られている。

本作は、彼女のステージの創作現場を追ったドキュメンタリーで、パリのエッフェル塔を望むシャイヨー国立舞踊劇場での上演までの道のりに密着した。仲間たちとの創作、練習、そして圧巻の本番のステージ。フラメンコ界の重鎮、ラ・チャナやフェルナンド・デ・ラ・モレーナたちとの心震えるセッション。家族や本人のインタビューを通して、彼女の心の内側にも迫る。世界中のファンを魅了してやまない彼女のパフォーマンスやステージはどのように出来上がっていくのか。フラメンコの枠を超えた注目を浴びながら、フラメンコの魂を持ち続ける彼女が追求するステージとは。

[上映期間] 2020.3.13(金)-4.3(金)

[休映日] 3.14(土)、3.16(月)、3.23(月)、3.30(月)

[上映時間] ホームページをご確認ください。

[料金] 当日券: 一般1,800円/学生1,500円/シニア・中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方1,200円/1階受付にて前売券1,400円 絶賛販売中 各種割引はお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉トレノバ TEL.03-6407-1931
<https://impulso-film.com/>

緊急上映決定!

『ロシオ・モリーナLIVE—カイダ・デル・シエロ』

天から落ちてきた女性の旅がテーマの本作で、ロシオは自身のルーツに深く迫っています。第19回英国批評家協会賞にて「OUT STANDING FEAMALE MODERN PERFORMANCE」賞を受賞。

※上映スケジュールはホームページをご確認ください

支援会員

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、
次の企業・団体に支援会員としてご入会いただきました。

《特別賛助会員》
キヤノン(株)
(株)資生堂
全日本空輸(株)
(株)ニコン

《賛助会員》
キヤノンマーケティングジャパン(株)
ゲッティイメージズジャパン(株)
大日本印刷(株)
東急建設(株)
凸版印刷(株)
富士フイルム(株)

《特別支援会員》
アサヒグループホールディングス(株)
サッポロ不動産開発(株)
サッポロホールディングス(株)
リコーイメージング(株)

《支援会員》
(株)アール&キャリア
(株)I&S BBDO
あいおいニッセイ同和損害保険(株)
アオネオ商(株)
(株)浅沼商会
旭化成(株)
(株)朝日工業社
朝日新聞社
(株)朝日新聞出版
朝日生命保険(相)
(有)アスペン/POLARIS
(株)アマナ
(株)岩波書店
(株)潮出版社
(株)栄光社
(株)エージービー
(株)ADKクリエイティブ・ワン
SMB日興証券(株)
(株)NHKアート
NHK営業サービス(株)
(株)NHKエデュケーション
(株)NHKエンタープライズ
(株)NHKグローバルメディアサービス
(株)NHK出版
(株)NHKテクノロジーズ
(株)NHKビジネスクリエイ
エルメス財団
オリンパス(株)
(株)オンワードホールディングス
カルツァイス(株)
花王(株)

加賀電子(株)
鹿島建設(株)
(株)KADOKAWA
カトーレック(株)
神奈川新聞社
カメラショップ(株)
(株)カメラの三和
(株)かんぽ生命保険
(株)キクチ科学研究所
(株)キタムラ
キックマン(株)
(株)紀伊國屋書店
ギャラリー小柳
共同印刷(株)
(一社)共同通信社
空港施設(株)
(株)久米設計
グローリー(株)
(株)ケー・アンド・エル
ケンコー/トキナー/スリック
興亜硝子(株)
(株)弘亜社
(株)廣濟堂
(株)講談社
(株)光文社
(株)国書刊行会
(株)コスモスインターナショナル
コダック(同)
コダックアラリスジャパン(株)
小山登美夫ギャラリー(株)
三菱石油(株)
三機工業(株)
産経新聞社
サントリーホールディングス(株)
(株)サンライズ
(株)ジェイアール東日本企画
JSR(株)
JXTGホールディングス(株)
(株)JT
ジェイティービー印刷(株)
(株)シグマ
(株)実業之日本社
信濃毎日新聞社
清水建設(株)
(株)写真弘社
写真の学校/東京写真学園
シャネル(同)
(株)集英社
シュッピン(株)
(株)小学館
城西国際大学メディア学部
松竹(株)
信越化学工業(株)

(株)新潮社
(株)スタジオアリス
(株)スタジオエムジー
(株)スタジオジブリ
(株)SUBARU
住友化学(株)
住友生命保険(相)
(株)生活の友社
(株)キクチホールディングス(株)
双日(株)
ソニー(株)
損害保険ジャパン日本興亜(株)
第一生命保険(株)
第一法規(株)
(株)ダイケンビルサービス
台新国際商業銀行
(株)久米設計
大丸松坂屋百貨店
大和証券(株)
(有)タカ・イシイギャラリー
高砂熱学工業(株)
(株)高島屋
(株)宝島社
(株)竹中工務店
日本航空電子工業(株)
(株)タムロン
(株)丹青社
(株)中央公論新社
中外製薬(株)
帝人(株)
(株)TBSテレビ
デジタル・アドバタイジング・
コンソーシアム(株)
(株)テレビ朝日
(株)テレビ東京
電源開発(株)
(株)電通
東亜建設工業(株)
東映(株)
東急(株)
東京海上日動火災保険(株)
東京空港交通(株)
東京工科大学/日本工学院
東京工芸大学
東京新聞・中日新聞社
(株)東京スタデオ
東京造形大学
東京総合写真専門学校
東京建物(株)
東京地下鉄(株)
東京テアトル(株)
東京都競馬(株)
(株)東京ドーム

(株)東京ニュース通信社
(学)専門学校 東京ビジュアル
アーツ
(株)東京美術倶楽部
東京メトロポリタンテレビ
ジョン(株)
(株)東芝
東宝(株)
(株)東北新社
(株)東洋経済新報社
(株)トキワ
(株)徳間書店
戸田建設(株)
トヨタ自動車(株)
(株)トロンマネージメント
(株)ニコイメーキングジャパン
日油(株)
(株)大丸松坂屋百貨店
(株)日経BP
日光ケミカルズ(株)
日産自動車(株)
(株)高島屋
日本空港ビルディング(株)
日本経済新聞社
日本航空電子工業(株)
(株)タムロン
(公社)日本広告写真家協会
日本写真印刷コミュニケー
ションズ(株)
(公社)日本写真家協会
(公社)日本写真協会
日本写真芸術専門学校
(一社)日本写真文化協会
日本生命保険(相)
日本大学芸術学部
(株)日本デザインセンター
日本テレビ放送網(株)
(株)ニッポン放送
日本レコードマネジメント(株)
日本ロレックス(株)
(株)ニューアートディフュー
ジョン
野村證券(株)
(株)博報堂
(株)博報堂DYメディア
パートナーズ
(株)博報堂プロダクツ
(株)ハースト婦人画報社
(株)ハーツ
パナソニック(株)
(株)パラゴン
ぴあ(株)
ビービーメディア(株)

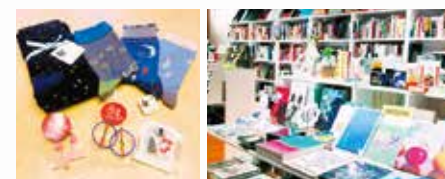
北海道 写真の町東川町
東日本旅客鉄道(株)
光写真印刷(株)
(株)ビクトリコ
(株)美術出版社
(株)ビックカメラ
(株)ピラミッドフィルム
(株)ファーストリテイリング
(株)フェドラ
(株)フジテレビジョン
(株)フジヤカメラ店
(株)プリンスホテル
(株)フレームマン
プロフォト(株)
(株)文化工房
(株)文藝春秋
北海道新聞社
(株)ホテルオークラ東京
(株)堀内カラー
本田技研工業(株)
毎日新聞社
(株)マガジンハウス
丸善(株)
マルミ光機(株)
(株)マンダム
(株)みずほ銀行
三井住友海上火災保険(株)
三井倉庫ホールディングス(株)
三井不動産(株)
(株)三越伊勢丹 三越恵比寿店
三菱地所(株)
三菱製紙(株)
三菱倉庫(株)
三菱電機(株)
三菱UFJ信託銀行(株)
(株)ミルボン
武蔵大学
明治安田生命保険(相)
森ビル(株)
ヤマトグローバルロジスティ
クスジャパン(株)
(株)吉野工業所
(株)ヨドバシカメラ
読売新聞社
ライオン(株)
ライカカメラジャパン(株)
リシモン ジャパン(株)
モンブラン
(株)良品計画
(株)ロボット
(株)ワコウ・ワークス・オブ・
アート
(株)ワコール

2F SHOP
ミュージアム・
ショップ

NADIFT
BAITEN

展覧会関連書籍はもちろん、季節のグッズも充実のミュージアム
ショップ。まだまだ寒さが続きますが、愛らしい柄が刺繍された
KURI BOTELLAの靴下で一足先に春を感じてみませんか。カラフル
なモチーフで気持ちも華やかになれるような、HELLOAYACHAN
のアクセサリーも人気です。

KURI BOTELLA 靴下 2,400円(税抜)~
KURI BOTELLA タイツ 5,600円(税抜)~
HELLOAYACHAN ピアス/ブローチ 2,500円(税抜)~



詳細
ページは
こちら
は
QRコード

営業時間/10:00-18:00(木・金は20:00まで) TEL/03-6447-7684
定休日/毎週月曜日 ほか
(美術館の休館日に準じます。詳細は裏表紙をご覧ください。)

1F CAFE MAISON ICHI
カフェ BOULANGER-PÂTISSIER-TRAITEUR-CHARCUTIER

LUNCH MENU (11:30-15:00)

本日のキッシュ(自家製パン付き) 1,200円
季節のラザニア(自家製パン付き) 1,200円
自家製パン、ドリンクはお持ち帰りできます
自家製バゲットのビザ 380円~
ぶるぶる生ブルマン 1斤 480円 1.5斤 680円
自家製レモンシロップのレモネード 445円
タピオカミルクティー各種 480円

ジュース・アルコール類もあります。
メニューは予告なく変更される場合があります。(価格はすべて税抜)



詳細
ページは
こちら
は
QRコード

営業時間/10:00-19:00(木・金は20:00まで) TEL/03-6277-3862
定休日/毎週月曜日 ほか
(美術館の休館日に準じます。詳細は裏表紙をご覧ください。)

SCHEDULE / スケジュール

展覧会・イベント・上映の最新情報は、
topmuseum.jpまたはこちらへ▶



	3F	2F	B1F	1F
2020 2		第12回恵比寿映像祭 2.7(金) - 2.23(日・祝)		
3	日本初期写真史 関東編	写真とファッション 90年代以降の関係性を探る (企)	APA AWARD 2020 2.29(土) - 3.15(日)	衝動 世界で唯一のダンスオーラ
4	幕末明治を撮る (収) 3.3(火) - 5.24(日)	3.3(火) - 5.10(日)	白川義員写真展 永遠の日本 / 天地創造 (収) 3.20(金・祝) - 5.17(日)	3.13(金) - 4.3(金)
5		日本・オーストラリア 現代写真(仮称) (企)	JPS 日本写真家協会展	
6	森山大道の東京(仮称) (収) 6.2(火) - 9.22(火・祝)	5.19(火) - 7.19(日)	5.23(土) - 6.7(日)	
7			世界報道写真展2020 6.13(土) - 8.9(日)	

(収) 収蔵展 (企) 企画展 「ぐるっとパス 2019」の詳細はこちら▶

東京都写真美術館 年間パスポート「TOP MUSEUM PASSPORT 2020」のご案内

当館の展覧会を無料または割引でご観覧いただけるお得なパスポートです。

販売価格: 3,300円(税込) 販売期間: 2020年4月1日(水) - 2020年9月30日(水) 予定

有効期間: 2020年4月1日(水) - 2021年3月31日(水) 販売場所: 当館1階総合受付

スケジュール内の(収)は無料、(企)は4回まで無料、その他は割引料金となります。特典等の詳細は、当館ホームページのご利用案内よりご確認ください。

年間パスポートの
詳細はこちら▶



割引料金について

展覧会を割引料金にご観覧いただけます

- 20名以上の団体のお客様 観覧料が2割引
- 各種会員の方 観覧料が2割引
 - JRE CARD (2018年7月2日にアトレビューSuicaカードより移行のクレジットカード)
 - MIカード(三越伊勢丹グループのクレジットカード)
 - ウェルカムカード(訪日外国人向けの割引カード)
 - 当館映画鑑賞券提示者
 - 財団他館友の会、年間パスポート会員
 - JR東日本「大人の休日倶楽部」カード
- 親子ふれあいデー(毎月第3土曜日と引き続く日曜日が対象) 観覧料が5割引
 - 都民で18歳未満のお子様を連れてご家族が対象です。 ※詳しくはお問い合わせください。

割引対象

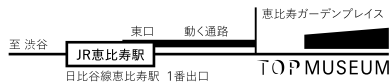
展覧会を無料でご観覧いただけます

1. □ 小学生以下
 - 障がい者手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 被爆者手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 愛の手帳・療育手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 精神障害者福祉手帳提示者及びその介護者(2名まで)
 - 東京都内在住・在学の中学生
- ※教育活動(スクールプログラムなど)で当館をご観覧希望の生徒と引率者は事前申告が必要です。当館までお問い合わせください。
2. シルバーデー(毎月第3水曜日)
 - 65歳以上の方 ※証明できるものの提示が必要です

無料対象

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分※当館には専用駐車場はありません。恵比寿ガーデンプレイスの駐車場を御利用ください。

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099 topmuseum.jp

開館時間 10:00-18:00(木・金は20:00まで)。入館は閉館30分前まで。

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日休館)、2020年2月24日(月) - 2月28日(金)、年末年始

東京都写真美術館ニュース「アイズ20」101号 □発行日: 2020年2月7日 / 企画・編集: 東京都写真美術館事業企画課普及係 □印刷・製本: 株式会社公栄社 □発行: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館©2020 □本誌掲載の記事・写真の無断複製・複製を禁じます。※本誌編集ページに掲載されている観覧料は、原則として消費税込みの価格です。事業内容は予告なく変更される場合があります。最新の情報はホームページをご覧ください。

文化でつながる。未来でつながる。

TokyoTokyo
FESTIVAL